

中央市議会 だより



実り豊かな
生活文化都市

<http://www.city.chuo.yamanashi.jp>

No. 48

平成30年2月1日発行

“ワン”ダフルな
1年に

特集 リニア建設に伴う公共施設の移転

- 12月定例会で決まったこと……P4
- 審議結果……………P6
- 市長の行政報告……………P7
- 一般質問に6議員……………P8
- 委員会レポート……………P11
- 政治倫理審査会の設置……………P14
- 3月定例会の予定……………P15
- 市民の談話室・編集後記……………P16

動物ふれあい教室(玉穂南小学校)

公共施設の移転



●成島2号公園と玉穂中央児童館

成島2号公園の一部がリニア中央新幹線建設用地にかかるため、その部分を隣接している現在の玉穂中央児童館へ付け替えます。公園の付け替えに伴い、玉穂中央児童館は現在の玉穂庁舎へ移転する構想です。

※現在、庁舎総合整備が計画されており、支所機能を除く市役所機能は増築される田富庁舎へ移転する予定で、今後、市では玉穂庁舎の空きスペースを子育て支援の拠点として整備する方針です。



成島2号公園と玉穂中央児童館

●中央市営駐輪場（JR小井川駅）

中央市営駐輪場がリニア中央新幹線建設用地にかかるため、現駐輪場から東側へと移転を計画しています。

JR小井川駅は、リニア山梨県駅から県内で一番最寄りの駅となることから、将来を見据え、駐輪場だけではなく、路線バス等の乗り入れやタクシーの乗り入れが可能になるよう一体的な整備を計画しています。

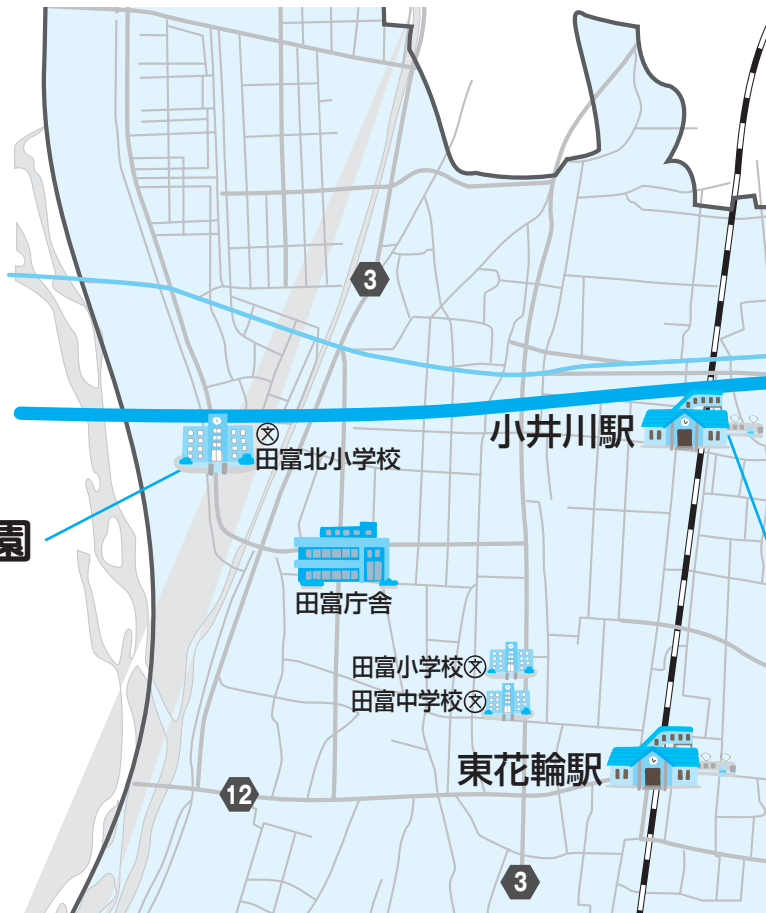
※リニア中央新幹線予定ルートはイメージで実際のものとは異なります。

特集 リニア建設に伴う

2027年（平成39年）開業予定のリニア中央新幹線事業は、昨年から用地買収が進められ、工事着手に向けての協議が行われています。中央市では、田富北小学校を始めとした多くの公共施設がリニア中央新幹線建設用地にかかるため、移転しなければなりません。議会でもリニア中央新幹線対策特別委員会の中で調査・研究を重ねてきました。今回はイラストを使い、リニア中央新幹線建設に関わる主な公共施設の移転にスポットを当てて特集します。



中央市総合防災公園建設が計画されている田富西ランプ南東



● 田富北小学校と田富ふるさと公園

・田富北小学校

田富北小学校の一部がリニア中央新幹線建設用地にかかるため、校舎は南側の田富ふるさと公園内にある市民プール付近へ移転が計画されています。また、学校の体育館とプールは現在の学校運動場内に移転する予定です。移転に先立ち、公園内グラウンドの南側を学校運動場として整備し、仮設校舎はグラウンドの北側に建設予定です。現在の計画では、平成31年の中頃から仮設校舎の運用を開始し、新校舎の運用は平成34年中頃から始まる予定です。

・田富ふるさと公園

田富北小学校の移転に伴い、公園内の市民体育館およびグラウンドは、田富庁舎北側から新山梨環状道路南側にかけて建設が計画されている中央市総合防災公園内に移転する予定です。



移転が計画されている小井川駅の市営駐輪場

本構想が策定されました

一般会計補正予算 3億6,239万円を追加
総額155億6,543万円に

一般会計補正予算のおもな内容

総務費

衆議院議員選挙費	1,451万円
小井川駅駐輪場等整備予定地購入費	5,900万円
増設庁舎建築監理業務委託料等	1,887万円

民生費

障がい者自立支援(給付費(介護給付費等)事業・医療費給付事業)等の扶助費	3,666万円
私立保育所措置事業負担金等	1億942万円
玉穂総合会館駐車場拡張工事	521万円

商工費

サイクリングイベント補助金	250万円
---------------	-------

土木費

人道橋詳細設計業務委託料	1,935万円
--------------	---------

災害復旧費

大鳥居林道土砂崩落箇所復旧工事請負費	2,050万円
--------------------	---------



10月の台風により崩落した大鳥居林道

特別会計補正予算

会計名	補正額	総額
国民健康保険特別会計	1億2,620万円	39億6,352万円
介護保険特別会計	▲8,014万円	20億5,717万円
簡易水道事業特別会計	1,307万円	2億3,171万円
下水道事業特別会計	1,410万円	13億5,739万円
上水道事業会計《収益的支出》	21万円	2億7,764万円

不動産取得の件

増設整備される中央市役所(現田富庁舎)の敷地外駐車場用地として、庁舎南側の土地を取得します。今後は、来庁者をはじめ公用車や職員用の駐車場として整備する予定です。

- ・取得面積 7,997平方メートル
- ・取得予定価格 9,738万3,800円

第2次長期総合計画の基

第2次中央市長期総合計画基本構想

中央市では長期総合計画を市の最上位の計画として、またその基本構想を将来における本市のあるべき姿と進むべき方向、市民との協働によるまちづくりについての基本的な指針として定めるものとしています。今回策定した基本構想は平成30～39年までの10年間の構想です。

まちづくりの5つの基本方針

- 基本政策1. 賑わいと交流の生まれるまちづくり
- 基本政策2. 安心して健やかに暮らせるまちづくり
- 基本政策3. 誇りと愛着の持てるまちづくり
- 基本政策4. 安全で快適な住みやすいまちづくり
- 基本政策5. 市民参加による協働のまちづくり

おもな条例案件

- 中央市を応援**するために寄附された**寄附金**を活用し、個性豊かな活力あるふるさとづくりを実現するため、条例を制定します。
(ふるさと応援基金条例の制定)

【おもな制定内容】 ●設置の目的 ●積立額について ●基金の管理について
●運用益金の処理について ●繰替運用について ●処分について

【施行日】平成30年4月1日

- 男女共同参画社会の実現**に向けた**取組み**を**推進**するための基本理念や責務などを定める条例を制定します。
(中央市男女共同参画推進条例の制定)

【おもな制定内容】 ●総則(目的、基本理念、市・市民・自治組織・事業者・教育に携わる者の各責務)
●性別による権利侵害の禁止
●基本的施策(基本計画、情報提供および広報活動、男女平等に関する教育の推進、国際的協調のための措置、苦情や相談への対応、調査研究)
●男女共同参画委員会
●委員等の報酬額について

【施行日】平成30年4月1日

平成29年第4回定例会審議結果

○賛成 ×反対 (河西 茂議長を除く)

種別	案件名	副議長	フォーラム中央							公明党	日本共産党	無所属		結果					
		井口 貢	山本 國臣	田中 一臣	福田 清美	田中 健夫	伊藤 公夫	名執 義高	小池 章治	金丸 俊明	斉藤 雅浩	田中 輝美	田中 清		木下 友貴	山村 一	宮川 弘也	関 敦隆	渡辺 亨
専決処分	・専決処分の承認を求める件 (平成29年度中央市一般会計補正予算(第5号))	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
条例制定 改正 廃止	・中央市ふるさと応援基金条例制定の件		/																可決
	・中央市男女共同参画推進条例制定の件		/																
	・中央市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び中央市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例中改正の件	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・中央市立保健センター条例中改正の件		/																
	・甲府都市計画中央市特別業務地区建築条例中改正の件		/																
	・中央市農村地域工業等導入促進のための固定資産税の免除に関する条例廃止の件		/																
				/															
平成29 年度 補正 予算	・平成29年度中央市一般会計補正予算(第6号)		/																可決
	・平成29年度中央市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)		/																
	・平成29年度中央市介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・平成29年度中央市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)		/																
	・平成29年度中央市下水道事業特別会計補正予算(第2号)		/																
	・平成29年度中央市上水道事業会計補正予算(第1号)		/																
その他	・第2次中央市長期総合計画基本構想策定の件	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	・不動産取得の件	○	/	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出	・中央市議会議員関敦隆議員に対する辞職勧告決議	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	

※斜線は欠席により、ハイフンは除斥により採決には加わっておりません。

オレンジカフェ(認知症カフェ)施策が 地方自治の充実発展に寄与した功績で 総務大臣表彰を受賞しました

市長の

行政報告

12月
定例会

中央市長 田中久雄

マイナンバー制度

本市におけるマイナンバーカードの交付率は、全国平均や県平均より高いものの、市人口の10%程度の交付です。広報やホームページなどで情報発信を行い、普及させていくとともに、カードの空き領域の活用を検討していきます。

市庁舎整備

増設庁舎建築実施設計は全体像がまとまりました。市役所機能を集約することで、効率的な行政運営の推進や、市民に満足いただけるサービスを提供し、市民の安全・安

公共施設等 総合管理計画

心を守る防災拠点施設として整備していきます。

施設等の適切な配置や、財政負担の軽減と平準化、民間活力の導入など、施設の方向性の「個別計画」を作成し、再編や適正化などの作業を進めていきます。

健康に関する 各種計画の策定

「健康増進計画」や「母子保健計画」など7つの計画の策定を進めています。健康長寿を目指し、自助・共助・公助の協働で、健康づくりを推

進めます。

サイクリングイベント

4月8日に、サイクリングイベント「桃と桜のサイクリング〜リニアアイドやまなし中央〜」を、市の新たな観光資源による交流イベントとして計画しています。

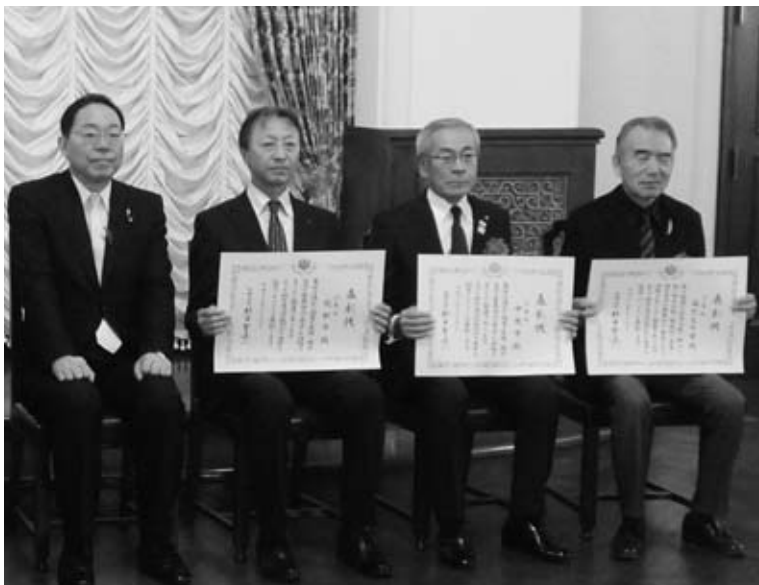
滞納整理強化月間

市税等の財源確保は重要不可欠です。市民の公

平性や平等性の確保を図る上でも、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

確定申告相談会場

2月からはじまる確定申告は、玉穂庁舎の1カ所です。受付相談を行います。広報やホームページなどで周知していきますので、ご理解とご協力をお願いします。



オレンジカフェ施策が認められ総務大臣表彰を受賞

Q 玉穂庁舎利活用の進捗は

A 複合的な施設整備に努める

金丸 俊明 議員

討を進めている。子育て拠点を中心に、複合的な施設整備を図りたい。
②利用者の要望を把握し、共生の時代に対応した特色ある施設を目指す。
④多様なニーズに応えられる、中央市の子育て支援の拠点としたい。

政策秘書課長 ③十分な広さ、雨天の遊び場、遊具の充実、一時預かりサービス等のニーズが多かった。
【関連質問】
▼名執義高議員



子育て支援の充実を

金丸議員 ①世代間交流の場所など、複合施設を基本とする整備検討の内容は。
②高齢者、障がい者、子どもが共生できる施設としての考えは。
③子育て支援総合拠点整備のアンケート結果は。
④子育て支援総合拠点整備の基本方針は。
市長 ①現在、支所以外の余剰スペース活用の検

**Q 公共工事における
社会保険加入は**

A 適正契約の基本項目として重視

関 敦隆 議員

関議員 ①適正な予定価格の見直しは。
②社会保険等の加入確認は。
③社会保険料の事業主負担分の確認は。
管財課長 ①社会経済情勢の変化を勘案し、労務・資材等の最新価格を反映させ、施工経費の適正な積算を行っている。
②中央市の入札資格登録業者は、社会保険加入が条件。一次下請け業者は、契約時の施工体制台帳で、加入状況を確認している。
③地方自治体では、法定福利費を内訳明示した見積書提出は義務化されていない。今後、他市町村等の動向を注視する中で、検討したい。





深刻化するネット・スマホ依存

Q 次期市長選は

A 熟慮を重ね 出馬の意向を固めた

名執 義高 議員

名執議員 ①小中学生のスマホ利用状況について。②依存症の種類と予防策について。③ブルーライトによる影響や睡眠障害について。④ルール策定についての先進事例と効果は。⑤中央市のルールづくりの必要性について。

教育長 ①中学校では約67%、小学校では約37%。②携帯を手放さない等、いくつか把握している。食事や勉強中などは利用しないルールが必要と言われる。

③厚生労働省では就寝2時間前からスマホを見ないようにすることが必要とされている。④自治体でルールを策定し制限する動きがある。大切なのは保護者が関心を持ち子どもと話し合いを持つことと考えている。⑤市PTA連絡協議会と協議し、県で定めたルールの徹底と各家庭でのルール作りを推進したい。

名執議員 ①3期12年の総括と評価、第1次長期総合計画の実施状況は。②次期市長選への出馬の意思は。

市長 ①基本理念をもとに12年間市政運営に全力で邁進してきた。市民の皆さまとお約束した政策は計画中を含め実行できたとと思う。②大きく変わりゆく次代の10年を見据え、合併から10年で培われた本市の良さを活かしたまちづくりを着実に市民と協働で実践していくことが、責務であると決意を新たにしました。

Q A

公立保育園への看護師配置は 他市町の状況を参考に検討する

田中 清 議員

と連携して取り組む。

【関連質問】

- ▼金丸俊明議員
- ▼田中輝美議員

田中議員 保育園における看護師のニーズが高まっている。県内でも富士吉田市では専属の看護師を配置し病後・病児保育を行い、担当課でも看護師を1名配置し保育園を巡回している。公立保育園へ看護師を配置する考えは。

市長 29年4月、甲府市や中央市など甲府圏域6市町間で、病児保育の相互利用がスタートした。公立保育園への看護師配置は、他の自治体の状況を参考に今後検討していく。

田中議員 飲み残した薬の有効活用は。

保険課長 医療費削減、医薬品の適正使用は重要課題。薬剤師会や医師会



保育のようす

Q 投票率向上・利便性の向上は

A 先行事例を研究する

田中 輝美 議員



投票率の向上に向けた取組みを(模擬投票イメージ)

田中議員 ①各直近選挙の期日前投票率は。②投票率向上に向けた取り組みは。③週末の期日前投票時間延長は。④経費削減の観点から入場整理券の圧着式導入について。

総務課長 ①26年市長選 11・68%、27年市議選 13・84%、28年参院選 16・11%、今年の衆院選 21・21%。

②街頭啓発活動や広報等での周知、中学生への「選挙出前講座・模擬投票」などを実施。

③他市の状況を踏まえ検

討する。

④切り取って使うため、裏面が確認できなくなり印字も小さくなる。経費削減としては有効。先行事例を研究し検討する。

田中議員 ①防災ラジオの導入は。

②高齢者や重度の障がい者宅に設置した住宅用火

災害報器の点検は。①莫大な費用がかかるため困難。

高齢介護課長 ②10年経過時には市で対応する考えだが、定期的な点検は自己で対応していただきたい。

【関連質問】
▼渡辺 亨議員

Q 将来を見据えたまちづくりは

A 今後の各種計画において 施策充実に努める

木下 友貴 議員

木下議員 ①各世代に応じた住宅政策は。

②公共交通の充実。

政策秘書課長 ①今後策定する各種計画において、高齢者が安心して暮らせ、子育て世代が住み続けたらと思える施策の充実に努める。

リニア交通政策課長 ②乗降調査等を踏まえ、コミュニティバスの更なる充実を図りたい。

木下議員 合併特例債の発行状況と今後の計画は。

財政課長 発行済額は約47億円、今年度発行予定額は約31億円、総額は約78億円で平成32年までの発行可能残額は約45億円。今年度の償還額は約3億円。今年度以降発行する分の償還を加え、36年分がピークと想定。今後



10月に開催されたトレイルランのプレ大会

は学校給食センター建設や豊富小学校の建替えのための発行を予定している。

木下議員 トレイルラン大会の検証は。

生涯教育課長 定員やコース設定、ランナーの安全対策が重要課題。

【関連質問】
▼小池章治議員
▼名執義高議員

総務教育常任委員会

審査ポイント リニア高架下の有効利用は

第2次長期総合計画基本構想策定の件

〈政策秘書課〉

問 実施計画策定に向けたタイムスケジュールは。

答 構想に基づいた基本計画を今年度中に策定予定。年明けにパブリックコメントを実施し、4月より計画がスタートする予定。実施計画は、ロリング方式により毎年度計画の見直しをおこなう。

ふるさと応援基金条例制定の件

〈政策秘書課〉

問 新たにこの基金を設置する理由は。

答 寄附金の管理や運用を更に明確にするため。

問 寄附者の意向はどう確認するのか。

答 現在の寄附申出書では、寄附目的に関するメニューを選択して印をつけていただく。

一般会計補正予算

〈リニア交通政策課〉

問 新環状道路やリニア中央新幹線の高架下は立ち入り禁

止区間となるが、照明不足による犯罪等の予防や、高架下の有効利用も必要では。駐車場やバスの待機場に使えないか、早い時期に交渉しては。

答 境川にある実験線の高架下の区間は網フェンスで囲い見通しは良い状況となっているが、本線橋脚の実態は未だ不明。今後、付替え道路等の具体的な対応については交渉をしていく。

〈教育総務課〉

問 小学校費の修繕料の内容は。

答 田富小学校の受水槽加圧ポンプ、体育館ひさし部分のコンクリート剥離とカーテンの修繕。

問 中学校学園祭の際、演劇の音が聞こえない場所があった。現状は。

答 学園祭の音響はレンタルで対応しており、通常の音響設備には問題なし。事前リハールもしたが当日は観客が多く影響が生じた。今後は詳細なりハール等を十分行い対応する予定。

厚生常任委員会

審査ポイント 放課後クラブの現状は

一般会計補正予算

〈子育て支援課〉

問 放課後児童クラブ運営費の賃金が増額されているが、人材確保の現状と今後の見通しは。

答 補助員を1名増員したが、不足分は児童館の児童厚生員を配備してカバーしている。今後は総務課と相談する中で待遇改善等を検討し確保に努める。

国民健康保険特別会計補正予算

〈保険課〉

問 繰越金額が多い要因は。

答 高額医薬品の処方やインフルエンザ疾患が前年度よりも減少したことや、国県からの交付金が予想以上に多かったため。

介護保険特別会計補正予算

〈高齢介護課〉

問 特定入所者介護サービス費が400万円の減額だが、利用者の減や、入所を控える

人が増えるなどの今後の傾向は。

答 介護保険事業計画の計画数値に基づき予算計上しているが、実情に合わせ補正。施設等は現在殆ど満床で、人数が減る状況にはない。

問 介護給付費も大幅な減額補正だが、今後の見通しは。
答 昨年度は初めて給付実績が前年度を下回った。しかし、平成29年度は一昨年度程度まで給付が増えるの見込みである。全体から見ると居宅介護サービスが多いと言える状況。



産業土木常任委員会

審査ポイント 桃と桜のサイクリング事業について

一般会計補正予算

〈建設課〉

問 人道橋に関する補正は解体撤去に係る費用のみか。

答 橋を上流側へ移設するため設計と工事を行うが、今回の補正は鉄道建設運輸機構が行う撤去費用。

問 現状の橋から規模などの変更はあるか。

答 補償工事のため、現状と同等となる予定。

〈農政課〉

問 宇坪川改修工事に関する予算補正について、今後も補正することがあるのか。

答 工事を行うと色々な事態が生じる。今回は掘削によって瓦礫等が出てきた。このような場合、補正を行う必要性が発生する。

問 周辺地域への沈降等に対する補償の考えは。

答 バイブレーション工法で、打圧式と違い影響範囲は広くならない事が確認されているが、万が一影響があった場合は被害調査をして対応したい。

問 台風の影響による大鳥居林道崩落の復旧工事について、工期は。

答 桜の開花状況や県有林の松くい虫調査を考慮し、3月末までに完了させたい。農林水産省の査定を今後受けた後に着工するため、工期は1〜3月の3カ月間となる。

〈商工観光課〉

問 桃と桜のサイクリングについて、この事業は毎年実施する予定か。

答 継続して行うことで市の魅力を全国に発信し、移住・定住や雇用に繋げていきたい。

問 協賛として、他市へも呼びかけては。

答 各行政団体とは看板設置などで協賛・協力をお願いしている。また、鰻沢・笛吹・南甲府警察署にも協力依頼し、各企業の協賛も考えている。他市へも協力等はお願いますが、定期的に予算の問題もあり、今回は本市の予算と参加料で実施する。今後は協賛も考えてきたい。

総務教育・厚生常任委員会

閉会中の常任委員会 調査・研究報告

- ◆日時 平成29年11月7日(火) ①10時～ ②13時30分～
- ◆場所 ①委員会室 ②富士川町議会
- ◆テーマ ①本市の情報システムおよびネットワークについて
②議会へのタブレット端末導入について

前半は本市情報システムの現状を学習しました。総務省は過去の年金情報流出事件を踏まえ、自治体情報システム強化を地方自治体に求めています。そこで、中央市では平成28年2月より住民記録や税・社会保障を扱う住基ネットはログ監視によるデータ持ち出し不可設定や端末への二要素認証が開始されました。また、住基ネット、各公共団体と繋がるLGWAN、外部と繋がるインターネットと3つのネットワークを分離させ、セキュリティを強化していることも確認しました。

午後からは既に議会へのタブレット端末を導入している先進地の富士川町議会を視察しました。導入までの経緯や導入及び運用経費、また導入効果と運用実態について学びました。また、富士川町議会議員の指導のもと、実際に使用されているタブレット端末を操作させてもらい、その利便性を体験しました。



実際に使用しているタブレットを体験

産業土木常任委員会

閉会中の常任委員会 調査・研究報告

- ◆日 時 平成29年11月10日(金) 13時30分～
- ◆テーマ 所管課の各事業現地視察について

農政課所管の法人向けワイン用農場として圃場整備する農地や、商工観光課所管の山の神千本桜の山道入口の現地視察を行いました。

大鳥居地区から高部地区にかけて南に面した広大な農地の圃場整備が進められているワイン用農場は、一帯にブドウ棚が広がるであろう壮観な景色を想像させるものでした。

山の神千本桜の山道入口の視察では、登山者・観光客用トイレの状況を確認すると同時に、担当者から説明を受ける中で今後の観光振興についても学びました。



山道入口のトイレ

議員視察研修

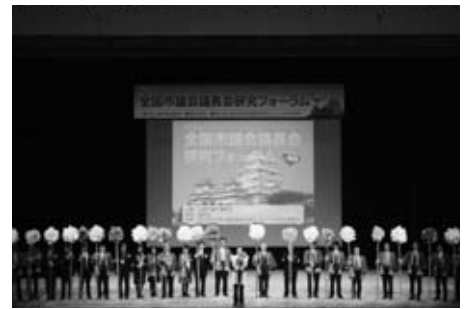
3常任委員会合同

日 程 平成29年11月14日(火)～16日(木)
 研修先 兵庫県 姫路市(全国市議会議長会研究フォーラム)
 神戸市(震災からの復旧・復興)

●全国市議会議長会研究フォーラム〈姫路市文化センター〉

「議会改革の実績と議会力の向上」を題材とした基調講演と、「議会改革をどう進めていくか」をテーマとしたパネルディスカッションを聴講しました。

ディスカッションでは、議会基本条例について、条例づくりが目的にならないようにと様々な観点から議論され、地方議会の将来像や議会改革の在り方などの内容は、本市の議会においても参考になるものでした。



全国市議会議長会研究フォーラム

●震災からの復旧・復興〈神戸港震災メモリアルパーク・人と防災未来センター〉

メモリアルパークは綺麗に開発されていて、岸壁にある壊れたままの栈橋が残されていないければ、震災の爪痕はどこにも見つけられませんでした。

「学ぶ・語り継ぐ・感じる」をテーマにした人と防災未来センターは日本中にあるテーマパークのような資料館と類似していました。復興のスピード感は凄まじいものがあり、16年後の東日本大震災の復興にこの経験が活かされていていれぱいと無力感でいっぱいになりました。つぶれたビルや焼けた街並みをどんな想いで住民たちは片付け、再生したのでしょうか。命がけでまちづくりに取り組んだのでしょうか。そんな気持ちを抱きながら、悲惨な傷跡が消された22年目の冬を迎える神戸の街並みに立ちました。



被災の様子が残されているメモリアルパーク

政治倫理審査会

中央市議会議員政治倫理審査会の設置

対象議員

関 敦隆 議員

審査請求の内容

対象議員の活動報告のチラシに誤った内容と行き過ぎた表現があり、市当局および議会の名誉と権威を失墜させるものであったこと。

審査会の設置

平成29年10月25日付で、田中一臣議員・田中清議員・斉藤雅浩議員3名の連名により、中央市議会議員政治倫理規程（以下、規程）に違反する行為をした疑いがあるとして、規程に基づき議長宛に審査請求が提出されました。議長は請求を受け、平成29年11月2日付で中央市議会議員政治倫理審査会を設置しました。

審査会委員

- ・ 委員長 井口 貢 ・ 副委員長 木下友貴
- ・ 委員 金丸俊明 田中輝美 名執義高 福田清美

審査の経過

- ・ **第1回審査会**（平成29年11月2日）
 - 任命状の交付・規程及び審査請求の概要確認。
- ・ **第2回審査会**（平成29年11月9日）
 - 審査請求議員による趣旨説明および質疑。
 - 請求に対する適否の協議 ⇒ 全委員一致で「適」とする。
- ・ **第3回審査会**（平成29年11月22日）
 - 市当局より事情聴取。
 - 審査対象議員である関議員より事情聴取と弁明の機会付与。
 - 調査を基に、規程に抵触する行為の存否について協議⇒関議員の行為が規程に抵触する旨を全会一致で決定。
- ・ **第4回審査会**（平成29年12月6日）
 - 必要と認める措置について、規程に基づき議長に対し報告することとその内容を協議・決定。

結果報告の要旨

審査対象議員の配布したチラシには、法令及び通達上適切に執行されている市の業務に対し、あたかも法律違反をしているような不適切な表現があり、このことは多くの市民に誤解を与え、不用意に市民感情を煽り、当局および当市議会の信用を著しく失墜させた。関議員に対しては公職者である議員としての責任・倫理について深く認識し、猛省を求めるとともに、規則や規程を厳格に厳守することを強く要望する。以上のことから、関議員に対し誓約書の提出および本会議上での謝罪を勧告し、審査について議会だよりへ掲載することを求める。

◆本会議上での謝罪と誓約書の提出について

審査会からの報告に基づき、関議員に対して議長より本会議上での謝罪と誓約書の提出を勧告しました。
※本会議上での謝罪については、関議員は当日の本会議を欠席し行いませんでした。

平成29年12月25日に提出された誓約書の要旨

誤りのある政務活動報告書を配布したことにより市民に誤解を与えたことや、議員としての自覚と責任に欠ける行為へのお詫びと反省をし、今後は慎重かつ正確に調査し、政治倫理規程を厳守する中で信頼回復に向けて職務に邁進することを約束いたします。

中央市議会議員 関 敦隆 議員に対する 辞職勧告決議

12月定例会最終日に動議により辞職勧告決議案が提出され、賛成14反対1で可決されました。

提案理由

誤った情報で誤解を与え不用意に市民感情を煽るなど、市民を欺き、不当に市政や議会を貶めようとする行為が繰り返されることに対し、議会として意思表示するため。

決議要旨

9月定例会にて調査不足による誤った内容で不適切かつ不穏当な発言をし、後に自ら発言の取消しと謝罪を行った。しかし、再び誤った情報と不適切な表現を用い、あたかも発言の取消しを強要されたかのような誤解を与える内容のチラシを作成した。これは政治倫理審査会でも審査され、本人も改めて過ちを認めた上で、誓約書の提出と本会議での謝罪を勧告された。

これらの経緯がある中、なお今定例会において、誤った内容と固有名詞を出して名誉を傷つけかねない発言を行い、市民に疑念を抱かせる行動に出た。これは今までの謝罪や反省を反故にし、市民の信頼を何重にも裏切る行為であり、ひいては議会に対する市民の信頼を根底から揺るがす事態である。

これまで議会としては、発言取消しの許可や謝罪の受入れ、審査会の設置など、関議員に対し真摯な対応を何度も重ねてきたが、市民を欺く行為が幾度となく繰り返されることについて、議員としての政治的・倫理的責任について議会として意思表示をするため、中央市議会議員を辞職するよう勧告する。

庁舎整備特別委員会

今委員会では、設計会社の担当者に同席いただき、増設庁舎建築の実施設計についてパース(完成予想図)を用い、説明を受けました。

委員からは各出入口や屋上の防水対策や、新しいトイレへのオムツ替えシート完備や多機能トイレの詳細等、最終確認がされました。また、来庁者への総合案内に対する質問については、開庁に向けた検討課題として取り組んでいることが示されました。今後も整備の状況は都度お知らせします。

平成30年3月定例会の予定 第1回定例会は、次のとおりの予定となります。お気軽に、傍聴においでください。

2月21日(水) 午前10時	開会	6日(火) 午前9時30分	予算特別委員会
23日(金) 午前9時30分	総務教育常任委員会	7日(水) 午前9時30分	予算特別委員会
26日(月) 午前9時30分	厚生常任委員会	8日(木) 午前9時30分	予算特別委員会
27日(火) 午前9時30分	産業土木常任委員会	9日(金) 午前9時30分	予算特別委員会
3月 1日(木) 午前10時	一般質問	14日(水) 午前10時	閉会
2日(金) 午前10時	一般質問		

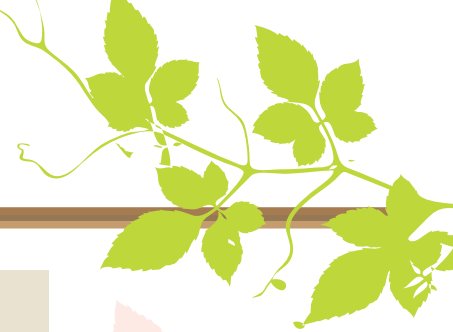
※日程等は定例会前の議会運営委員会で決定されます。変更される場合がありますのでご了承ください。

● 議会は誰でも傍聴できます。(傍聴席36席)

なお、本会議は田富庁舎1階ロビーでテレビ放映します。お気軽に、傍聴においでください。



市民の談話室



関原
石田 隆



白井阿原第1
河内 司郎



中央市に移住して

あの東日本大震災より6年9か月が経ち、その後の東京電力株式会社福島第1原子力発電所の事故発生による避難生活開始から6年9か月になろうとしています。

あの寒い時期に着の身着のままでも持たずに飛び出し、家族と共に太田市に1〜2日、郡山市にも1〜2日、府中市にも15日と世話になり、群馬のアパートにも1ヶ月位、その後息子の日立原町電子工業株式会社が山梨に移転するとのことで世話になり、中央市のヴィラ豊富に1年位、久保団地に4年位、木原に定住して2年半になります。

季節毎のぶどう、もも、さくらんぼ、いちご、とうもろこし等、豊富な食べ物が多いのはやっぱり山梨です。盆地になっているので福島より雪が少ないのと1年中暖かいので、山梨は住むのには良い所です。

あれから40年

周りはほとんど農地、少し離れた所に地元の農家が点在する所に、新住民として30戸ほどで組を作り、中央市(旧田富町)に移住しました。組員は多くが夫婦に子ども1〜3人のサラリーマン世帯で、毎日、子どもの元気に走り回る声が絶えず、賑やかで明るい活気に溢れた地区でした。

“あれから40年” 辺りはすっかり住宅地に変わったが、ここは80歳前後の老夫婦・独居老人世帯が大半で、子どもの声を聞くことはほとんどない、静かな逆に淋しい地区に変わりました。

私も、間もなく運転免許証の更新時に認知症のチェックが加わる後期高齢者グループになり、日々の健康が重大な関心事になりました。友人との会話も病氣・介護等が中心となり“ピンピンコロリ”が一番の願いです。

あと10年、リニアが目と鼻の先を走ります。「リニアに乗る」を目標に、散歩・スポーツ・脳トレ・地元自治会行事への積極的参加や協力などで、周りの人々に迷惑をかけずに1日でも長く、元気に過ごせるようにと考えている昨今です。

編集後記

2017年度、最後の議会報告となります。お手元に届く頃は2018年の始め、2019年には約200年ぶりに天皇の退位の儀式が行われる旨の報道がありました。年を重ねるごとに、あらためて1年が過ぎることの早さを実感しています。

子育て支援が本市においても極めて重要な時期にきています。子は親にとって宝であると同時に「社会の宝」「世界の宝」であります。

江戸時代の日本は「地域の教育力」がありました。当初、寺子屋の講師は、農民・町民が過半数を占め、近隣の子どもたちに教えていたそうです。村の有力者は無料で書物を貸し出したとも言われています。現代

でも、この寺子屋のように地域・家庭が連携した「子どもを育むネットワーク」が大切です。地域の大人とのよい関わりが、子どもにとって社会に視野を広げ、成長する機会と考えています。

未来の子どもたちのために市議会も様々な議題を丁寧に議論し、提案してまいりたいと思います。

〔田中 清〕

議会広報編集委員会

委員長 田中 清
副委員長 木下 友貴
委員 渡辺 亨 小池 章治
名執 義高 福田 清美